KOMEITO 公明党
横浜市会議員
竹内やすひろ

市政報告

ヒットエンドラン通信

水道・交通常任委員会視察

西谷浄水場の老朽化による再整備

屋上から見た西屋浄水場

西谷浄水場では、耐震性が不足しているろ過池を更新するとともに、水源水質の悪化にも対応できるよう浄水処理の工程に粒状活性炭処理を導入するため、平成37年度の完成を目標に再整備事業を進めてきました。現在は、相模湖系統の水利権水量の全処理を可能とするために、導水路、浄水処理施設、排水処理施設について全体最適の視点で検討が進められています。この検討を進める中で、新たなエネルギー効率の良い浄水処理システムを実現できる可能性が生じたため、これまでのスケジュールを変更した整備案が検討もされていることもあり、今回の視察となりました。今後、委員会に再整備案が示され審査が行われる事となります。

横浜市の水源管理

横浜市では、浄水場の老朽化に対応するため、再整備に取り組んでいますが、道志川水系・相模湖水系・馬入川水系の3つの水源を、1水源1浄水場でそれぞれ処理。施設の効率化を図るとともに、水源水質に適した浄水処理を目指しています。

1水源1浄水場で管理

1水源1浄水場とは、道志川水系(自然流下)は、川井浄水場。相模湖水系（自然流下）が西谷浄水場。馬入川水系統（ポンプ）が小雀浄水場となります。

この中で自然流下系浄水場では水源から浄水場へ水を送る際に電力依存しないためエネルギー効率に優れ、費用や環境への負荷を少なくできます。また、災害時における停電の際にも安定して原水を送ることができるために、優先的に整備。施設の耐震化などの再整備の際にも安定給水を確保するため、浄水処理を継続しながら事業が実施されます。

横浜市会議員
竹内やすひろ（たけうちやすひろ）
神奈川区政務調査事務所
横浜市神奈川区大口通り127-16コスガビル1F
TEL：045-716-6822　FAX：045-716-6823
ホームページ　http://takeuchi.180r.com
E-mail　mail@takeuchi.180r.com
☆twitter

市会運営委員会副委員長　水道・交通委員会
新たな都市活力推進特別委員会
公明党神奈川県本部 幹事長代理
公明党神奈川支部 支部長
防災士

公式ホームページ
http://takeuchi.180r.com

竹内やすひろ
facebook

新たな都市活力推進特別委員会視察

札幌文化芸術劇場「hitaru」を視察

新たな都市活力推進特別委員会の視察にて、10月に開館する北海道札幌市の札幌文化芸術劇場「**hitaru**」を視察しました。

ここでは、札幌・北海道では公演されたことがないオペラ、バレエ、ミュージカルをはじめとする国内外の優れた舞台芸術や、ポップスのコンサートなど、あらゆる世代が楽しめる多様なジャンルの公演によって、文化と芸術、そして人々の出会いを生み出し、交流の輪を広げていくことが目指されます。

世界から信頼され、国内外の人々を引きつける、これからの札幌都心まちづくりの一翼を担う事業として位置づけ、街づくりの一環として整備されています。

市民が思う存分芸術に浸る場所

「**hitaru**」という名は、「札幌市民が思う存分、芸術に『**hitaru**』場」という思いが込められており応募選考により決定。劇場に集う市民自らが文化芸術を心から楽しみ、深く味わう様子が思い浮かび、劇場が市民とともに札幌・北海道の文化の殿堂を目指していくという明確な方向性も示されており、「**hitaru**」の響きやつづりは「**hito**＋**aru**」で「ひとがある」を連想させ、この劇場に人々が集まり、世代を超えて文化芸術に触れ、感動を共有しているという未来が 近づいていることが感じられます。

小練習室

市民交流複合施設計画として

この計画は、平成20年「市民交流複合施設計画」が策定、市街地再開発事業の具体化の検討が進む街区に、老朽化が著しい旧市民会館の建て替え更新を中心とする施設整備をすることで開始されました。地下鉄大通駅から地下歩道でで繋がり、札幌の都心の交通至便の高い位置にあります。

この「**hitaru**」は、「さっぽろ創生スクエア」として26階のオフィス・放送局などの高層棟と「**hitaru**」の入る低層棟の交流施設からなる複合施設です。札幌文化芸術交流センター、札幌図書・情報館等を併設しています。

主舞台と同面積のクリエイトスタジオというホールには
175 席の移動観覧席を設置

創造都市を目指す横浜市

横浜市では、都心臨海部において、開港当時の歴史を今に伝える西洋建築や近代建築が少しずつ姿を消し、オフィスビルの空室率が増えるなど、文化･経済の両面で活力が失われつつある状況を脱し、再び都市の魅力を取り戻していくために、創造都市（クリエイティブ･シティ）という考え方に着目しました。文化芸術の創造性を活かし、「文化芸術振興」や「経済振興」といったソフト施策と、「まちづくり」などのハード施策を一体的に取り組み、市民にとって誇れるまち、国内外から「選ばれる都市」として持続的に発展していくことを目指しています。今後、横浜がより活力ある都市として成長できるための調査研究を進めてまいります。